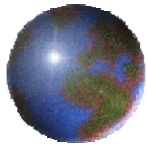


ISAP 2011

第3回 持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム

セッションⅣ グリーン経済



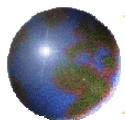
地球環境容量に見合った グリーン経済モデルとは？

A green economy model compatible with
global environmental carrying capacity?

地球環境戦略研究機関
経済と環境グループ ディレクター
小嶋 公史

2011年7月27日 パシフィコ横浜

IGES Institute for Global
Environmental Strategies

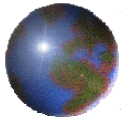


グリーン経済：地球規模の課題 Green economy: Global challenge

- 環境制約・資源制約の顕在化
 - ◆ 物理的制約：宇宙船地球号、成長の限界
 - ◆ 経済的制約：資源価格・食料価格の高騰
- 先進国による環境容量・資源の大量消費は**現世代の貧困層および将来世代がニーズ**を充足するために必要な環境容量・資源の確保を難しくしている。
- 先進国と途上国間での**消費規模の極度の偏り**そのものが、世代内衡平の観点から大きな問題となっている。



IGES Institute for Global
Environmental Strategies



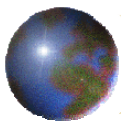
先進国におけるリデュース政策の重要性

Importance of consumption reduction policy in advanced countries

- 3Rのトップバッターが「リデュース」。
- 日本の3R政策:リユース、リサイクル促進により資源効率改善。
 - ➡ 「GDPあたり資源利用」は減少
 - ➡ しかし、資源利用の絶対量の減少には必ずしもつながっていない



- 資源効率改善は産業界・市民の同意が得られやすい(利潤最大化、GDP成長に貢献)。一方、資源利用の絶対量の抑制は既存の経済パラダイムにはなじみにくい。
 - ➡ 新たなパラダイムが必要

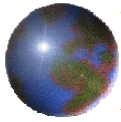


Beyond GDP: グリーン経済に向けた政策目標の見直し

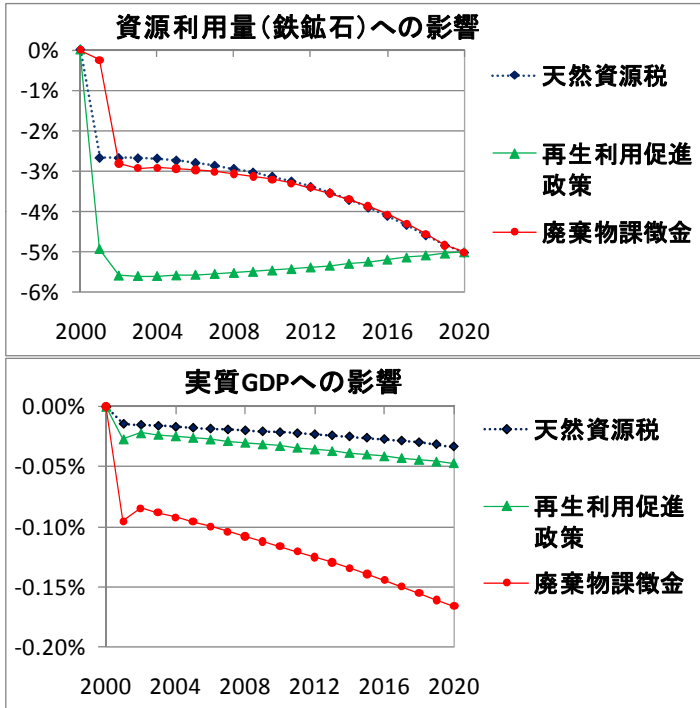
Beyond GDP: reconsideration of policy goals towards GE

- 天然資源投入 ⇒ 消費財生産 ⇒ 所得&消費。
- 所得&消費「投入」 ⇒ ニーズ充足 ⇒ 幸福度改善。
- 消費水準(GDP)と幸福度の関連
 - ➡ 途上国など、基本的ニーズ(衣食住)が満たされていない状態では高い正の相関。
 - ➡ 先進国では相関が弱い、場合によっては負の相関(過剰消費による幸福阻害。例えば肥満など)
- 消費「投入」による幸福度「生産」の効率改善
 - ➡ Beyond GDP: GDPに代わる幸福度指標





グリーン経済モデルに関するIGES研究 IGES research related to green economy models



持続可能な消費に関する環境経済政策研究



グリーン経済に関するポリシーブリーフ